

# 小規模企業の景況

(2024年4～6月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2024年4～6月期の結果概要は以下の通り。今期(2024年4～6月期、調査基準日:6月1日)の業況判断DIは▲9.8と前回調査から12.3ポイント上昇し、3期振りに上昇した。売上額DI値は▲3.6(前回調査から12.2ポイント上昇)、資金繰りDI値は▲11.3(前回調査から5.9ポイント上昇)、従業員数過不足DI値は▲13.5(前回調査から1.9ポイント上昇)となった。「経営上の問題点」では、小売業で「仕入単価の上昇」が8期連続第1位となり、今期は卸売業で「仕入単価の上昇」、製造業でも「原材料価格の上昇」が第1位となり、サービス業を除く3業種で単価上昇が共通課題となった。

## 1. 今期(2024年4～6月期)の状況

**【売上額】**今期(2024年4～6月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2024年1～3月期)の▲15.8から12.2ポイント上昇し、▲3.6となった。業種別では前回調査から、卸売業が29.0ポイントと大幅に上昇、製造業が0.6ポイント、小売業が12.7ポイント、サービス業が10.3ポイントと全業種で上昇した。

**【資金繰り】**今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲17.2)から5.9ポイント上昇し、▲11.3となった。業種別では前回調査から、製造業が6.1ポイント、卸売業が3.3ポイント、小売業が10.2ポイント、サービス業が4.5ポイントと全業種で上昇した。

**【業況判断】**今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲22.1)から12.3ポイント上昇し、▲9.8となった。業種別では前回調査から、小売業が21.4ポイントと大幅に上昇、製造業が14.6ポイント、卸売業が16.1ポイントそれぞれ上昇し、サービス業が0.2ポイント低下した。

**【従業員数過不足】**今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲15.4)から1.9ポイント上昇し、▲13.5となった。業種別では前回調査から、製造業が3.1ポイント、小売業は3.0ポイント、サービス業が1.6ポイント上昇し、卸売業が横ばいとなった。

## 2. 来期(2024年7～9月期)の予想

来期(2024年7～9月期)の全産業の予想DIは、売上額▲2.5、資金繰り▲10.5、業況判断は▲6.2となった。

## 3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業で「仕入単価の上昇」、小売業で「仕入単価の上昇」と「需要の停滞」、サービス業で「利用者ニーズの変化への対応」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2023年4～6月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

## 【調査の概要】

- ・調査名：第176回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
- ・調査時期：2024年5月21日～6月1日（前回：2024年2月16日～3月1日）
- ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
- ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
  - ※ 全国18,840件中（商工会議所調査対象7,931件）、大阪商工会議所分324件。
  - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）275件について取りまとめた。  
〔製造業76件、卸売業62件、小売業62件、サービス業75件〕

## ■DI推移（全産業）

	173回調査	174回調査	175回調査 (前回)		176回調査 (今回)	
	2023年(R5) 7～9月期	2023年(R5) 10～12月期	2024年(R6) 1～3月期	2024年(R6) 4～6月期	2024年(R6) 4～6月期	2024年(R6) 7～9月期
売上額（増-減）	7.6	-5.2	-15.8	-9.5	-3.6	-2.5
資金繰り（好-悪）	-9.0	-13.5	-17.2	-15.8	-11.3	-10.5
業況（好-悪）	-3.6	-15.6	-22.1	-18.2	-9.8	-6.2
従業員（過-不）	-11.2	-12.8	-15.4	-	-13.5	-

## ■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 ↑	19 (17)	仕入単価の上昇 ↑	22 (18)	仕入単価の上昇 → 需要の停滞 ↑	11 (11) 11 (9)	利用者ニーズの変化への対応 →	15 (11)
2位	需要の停滞 ↓	16 (19)	需要の停滞 ↓	13 (20)			人件費の増加 ↑	10 (7)
3位	生産設備の不足・老朽化 →	10 (9)	販売単価の低下・上昇難 → メーカーの進出による競争の激化 ↑	4 (4) 4 (2)	消費者ニーズの変化への対応 ↓	9 (10)	材料等仕入単価の上昇 ↓	7 (8)

[注]（ ）内は前回（2024年1～3月期）調査結果

↑ = 前回より高順位

→ = 前回と同順位

↓ = 前回より低順位

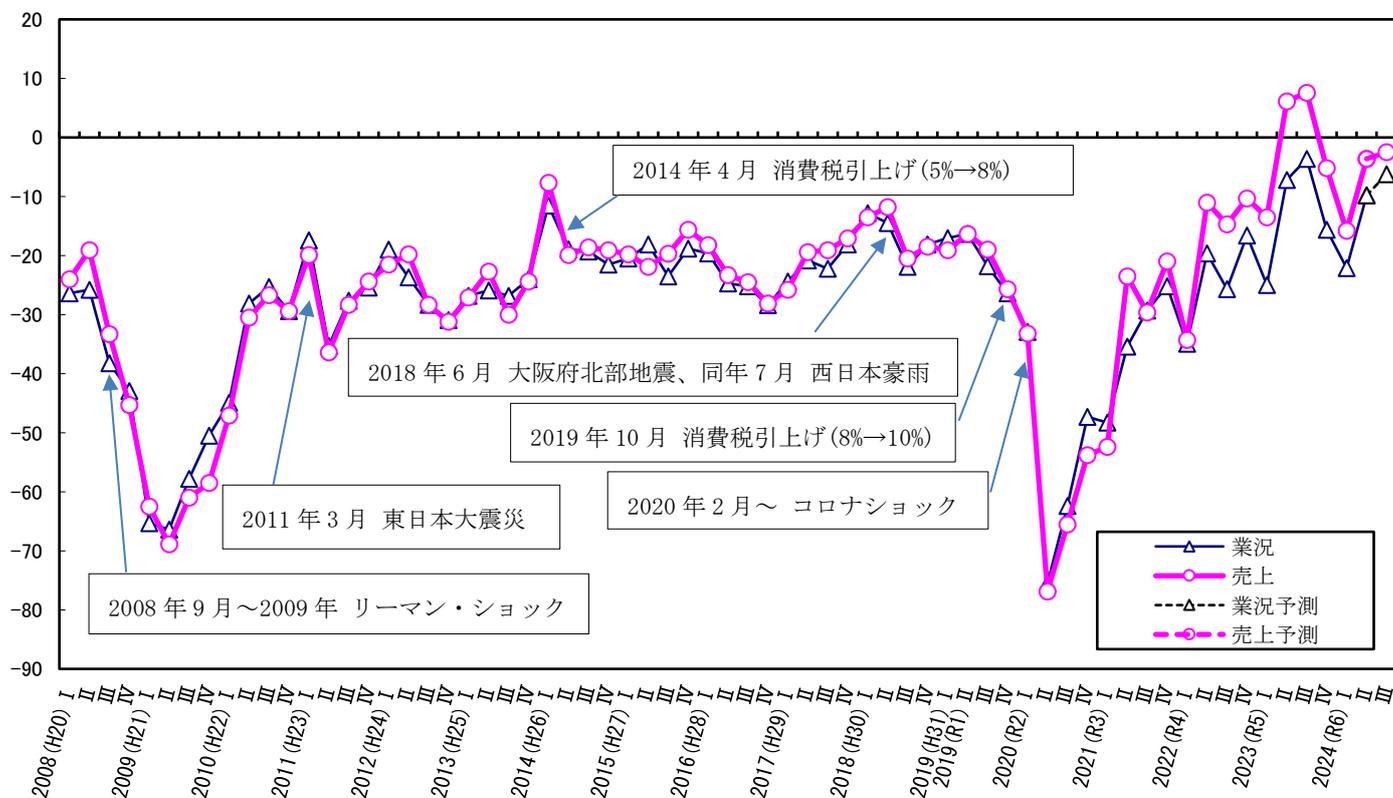
■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(4~6月期)				前回(1~3月期)からの推移	来期の予想(7~9月期)			
		増加	不変	減少	増-減		増加	不変	減少	増-減
売上額										
	製造業	22.4	38.2	39.5	▲ 17.1	0.6	17.1	50.0	32.9	▲ 15.8
	卸売業	24.2	45.2	30.6	▲ 6.5	29.0	22.6	46.8	29.0	▲ 6.5
	小売業	38.7	30.6	30.6	8.1	12.7	37.1	35.5	25.8	11.3
	サービス業	36.0	30.7	33.3	2.7	10.3	32.0	37.3	29.3	2.7
	合計	30.2	36.0	33.8	▲ 3.6	12.2	26.9	42.5	29.5	▲ 2.5
	前回	22.1	40.0	37.9	▲ 15.8		24.9	40.4	34.4	▲ 9.5
資金繰り		好転	不変	悪化	好-悪		好転	不変	悪化	好-悪
	製造業	11.8	69.7	18.4	▲ 6.6	6.1	7.9	72.4	18.4	▲ 10.5
	卸売業	1.6	80.6	17.7	▲ 16.1	3.3	4.8	82.3	12.9	▲ 8.1
	小売業	14.5	58.1	27.4	▲ 12.9	10.2	14.5	56.5	27.4	▲ 12.9
	サービス業	9.3	69.3	20.0	▲ 10.7	4.5	10.7	65.3	21.3	▲ 10.7
	合計	9.5	69.5	20.7	▲ 11.3	5.9	9.5	69.1	20.0	▲ 10.5
	前回	5.3	71.9	22.5	▲ 17.2		7.7	68.1	23.5	▲ 15.8
業況		好転	不変	悪化	好-悪		好転	不変	悪化	好-悪
	製造業	18.4	48.7	32.9	▲ 14.5	14.6	14.5	47.4	32.9	▲ 18.4
	卸売業	16.1	48.4	33.9	▲ 17.7	16.1	16.1	56.5	24.2	▲ 8.1
	小売業	24.2	46.8	29.0	▲ 4.8	21.4	19.4	54.8	19.4	0.0
	サービス業	24.0	49.3	26.7	▲ 2.7	▲0.2	22.7	52.0	20.0	2.7
	合計	20.7	48.4	30.5	▲ 9.8	12.3	18.2	52.4	24.4	▲ 6.2
	前回	13.7	50.5	35.8	▲ 22.1		14.4	50.5	32.6	▲ 18.2
従業員		過剰	適正	不足	過-不					
	製造業	0.0	77.6	19.7	▲ 19.7	3.1				
	卸売業	0.0	85.5	9.7	▲ 9.7	0.0				
	小売業	3.2	74.2	6.5	▲ 3.2	3.0				
	サービス業	1.3	76.0	20.0	▲ 18.7	1.6				
	合計	1.1	78.2	14.5	▲ 13.5	1.9				
	前回	1.8	74.4	17.2	▲ 15.4					

「今期の状況（除従業員）」は2024年4~6月期状況であり、前年同期の2023年4~6月期との比較。来期の予想は2024年7~9月期予想であり、2023年7~9月期との比較である。

「前回」欄は2024年1~3月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値=D I（増加・好転－減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2024年III 予想値